



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

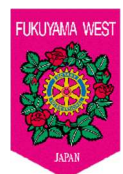
第 1486 回 (33)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2022 年 5 月 10 日 (火) 12:30 ~
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 君が代・奉仕の理想 」
ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照)
例会情報 会長報告
幹事報告
出席報告
S A A 報告
スマイル報告
プログラム情報
その他報告

その他情報 メークアップ情報 (来週分)
メークアップ情報 (再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

皆様、こんにちは。久しぶりの会長報告です。

先日 4 月 28 日に、地区のロータリー奉仕デーとしてマツダスタジアムに行ってきました。早めに到着して、入場ゲートの所で来場者にロータリークラブについての広報メモをうちわと一緒に配布しました。うちのクラブの受け持ちは 16 時 30 分から 1 時間、塩川さん、河村さん、そして笹田さんと 4 人で、押し寄せる来場者にもれなく手渡しました。メモは見なかった人もたくさんいるとは思いますが、それでもかなりの方々がロータリーのことをちょっと知ることになったのではないかと思います。試合中も、電光掲示板にロータリーのことが大きく伝えられる瞬間もありました。

場内で杉川ガバナーとも少しお話ができましたが、改めてあの方のロータリーの認知度を上げたい、コロナ禍であっても全力を尽くす、という強い意欲を感じました。席の周りにはロータリアンが集まっていて、有意義な時間を過ごすことができました。

本当はヤクルトに勝てばもっと盛り上がったのですが、残念ながら魔の 8 回、中崎劇場が始って、試合の方は悲しい結果となりました。

私たちも杉川ガバナーの想いを受けて、多くの方々にロータリーのことを知って頂くことをしていかなければいけないと感じています。

今日は、福山西ロータリークラブが強い想いを持って長年支援させて頂いている、広島県東部地区吹奏楽祭りに関連して、三宅校長先生、小山先生にお越しいただいてお話を伺います。お二方におかれましては、本当にお忙しい中お時間を作って頂きありがとうございます。どうかよろしく願いいたします。

そして今日は、入会をお誘いしている 4 名の方々がゲストとしてご参加されています。ようこそ来ていただきありがとうございます。地区のロータリー奉仕デーに繋がるというわけではありませんが、今日の卓話から私たちの活動の一部を理解して頂く絶好の機会ともなりました。ロータリークラブに興味をもつていただくきっかけになることを期待しています。どうかリラックスして楽しくこの時間をお過ごし頂けたらと思います。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《 ゲ ス ト 卓 話 》

福山市立培遠中学校 校長 三宅 幸二 様
「広島県公立高校入試制度について」



広島県の公立高等学校の入学選抜制度が変わります

1 はじめに

公立高等学校入学選抜制度の改善の視点

- ① 生徒が自ら課題を発見し、解決していく能力を培うなど「主体的な学び」を促す教育活動（学びの変革）に取り組んでいる。
- ② 新学習指導要領の趣旨を踏まえた各高等学校の教育目標の実現に向けた入学選抜の質的改善を図る必要がある。

以上を踏まえ、「広島県の15歳の生徒にどのような力をつけさせたいか」という観点から改善を行うこととなった。

2 広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力とは

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力

3 新しい入学選抜制度のポイント

- (1) 主体的に志望校を選択
事前公表・・・「教育目標」「育てたい生徒像」「入学受け入れ方針」
「入学選抜の実施内容」
- (2) 入学選抜に係る期間を短縮
「一次選抜」「二次選抜」
- (3) 調査書を簡素化
「志望校」「氏名」「性別」「学習の記録」

- (4) 受検生全員に「自己表現」を実施
自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現

4 自己表現について

- (1) 自己表現の実施
「実施形態」・・・個人ごとに面談形式
「検査官」・・・2～3名
- (2) 実施の流れ
第1日・・・自己表現カード作成・提出
第2日・・・自己表現実施
（高等学校及び志願状況等により、第3日に実施もある）
自己表現カード作成時間・・・30分
自己表現・・・・・・・・・・5分以内
質問・回答・・・・・・・・・・3分以内
- (3) 評価の在り方
評価の観点三点、評価規準と合わせて全校共通
「自己を認識する力」「自分の人生を選択する力」「表現する力」
検査官からの質問に対する受検者の回答も評価に含める。
評定は4点を規準とし、評価の観点毎に5点、4点及び3点の何れかで評価。
- (4) 自己表現カード
受検者が自己表現を行うにあたって、補助的な資料として作成。
文章がうまく書けていることや、きれいに書けていること、文字数の多さ等、自己表現カード自体は、評価の対象としない。
- (5) 基本的なガイドライン
- ①実施可能な表現方法については、
 - ア 受検者本人が一人で時間内に準備し、実施できるもの。
 - イ 検査場内で実施できないもの、他の受検者に影響があるもの、安全面で問題があるもの等は、実施できない。
 - ②使用可能な物品については、
 - ア 受検者本人が一人で検査場まで持ち運ぶことができるもの。
 - イ 安全面で問題がないもの、管理上問題がないもの。
 - ③タブレット等の使用については、
 - ア タブレット等を持ち込んで、資料や写真などを提示しながら自己表現を行うことができる。
 - イ 検査場内では実施できないことを事前に撮影し、検査当日にタブレット等を使用して動画や写真を提示することができる。
（動画は30秒以内のものに限る）

福山市立大門中学校 音楽教諭 小山 泰弘 様 「市内吹奏楽部 コロナ禍での活動について」



市内の吹奏楽部のコロナ禍の活動の様子

こんにちは。今年度より広島県東部地区吹奏楽連盟事務局長を務めております、小山泰弘と申します。日頃より、市内の吹奏楽部の活動を温かく見守り、またご支援くださり、連盟一同感謝申し上げます。

ここからは、吹奏楽部の行事や練習の様子、環境などを簡単にご紹介させていただきたいと思います。広島県東部地区吹奏楽連盟が主催する行事は主に3つあります。6月の実技講習会、8月の広島県東部地区吹奏楽連盟吹奏楽祭り、12月開催のアンサンブルコンテストです。また、本連盟が主催ではありませんが、広島県吹奏楽連盟が主催する吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストにも多くの学校が参加します。

6月の実技講習会というのは、過去は各楽器に対して作陽音楽大学から大学生を講師として招き、公立の大規模校をお借りして、各教室にてレッスンを行い、他校の生徒からも刺激を得ながら、研鑽を積む会であります。こちらはこの2年コロナ禍で、感染状況を鑑みの中で、開催に行きつくことはできませんでした。しかし、今年度は吹いて演奏することのない打楽器を限定に、市内中学校の体育館で午前、午後の2部制で十分な感染対策をとりながら、今後の感染状況によりますが、現在開催の方向ですすめているところです。

8月の吹奏楽祭りというのは、広島県東部地区吹奏楽連盟が主催する吹奏楽コンクールで、福山市内、福山近郊の中学校が主に参加をします。入賞を目指して、切磋琢磨しながら練習に励みます。

12月のアンサンブルコンテストというのは、本連盟が主催する3～12人の少人数で行われる演奏のコンテストで、こちら入賞目指して生徒は練習に熱心に取り組みます。

活動の現状ですが、ここ2年で環境が大きく変わりました。また、働き方改革も相まって、下校時間が繰り上がった学校が市内で多く見られ、部活動に当てられる時間は少なくな

ったのが現状です。土日も演奏会などが近づくと一日練習をして追い込みをかけていたところも、現在は土日どちらか3時間までとなっています。感染状況によっては学校行事の削減、学級閉鎖や分散登校や、部活動停止が何ヶ月も続くなど、これまでできていたことができなくなり、生徒も教員も戸惑いの中で活動をしています。さらに、部活動入部の自由化を取り入れる学校が増え、少子化の流れもあり、部員の確保にも頭を悩ませています。一般的な吹奏楽の演奏に求められる人数は30人後半ですが、福山市内で30人を超える吹奏楽部は数えるほどしかありません。

このような環境ではありますが、限られた時間、人数で何ができるのかを見直す機会にもなりました。練習方法を見直したり、曲選びを工夫したり、行事での演奏内容、演奏形態を変えたり、学校として時間割を工夫し、練習時間を確保するなど、生徒の有意義な活動が止まらないように、何ができるかを学校全体で試行錯誤しているところです。

吹奏楽の魅力は、1曲数分のために何十人が何ヶ月もの時間をかけて、個人で、パートで、合奏で形づくり、聴いてくださる方に音楽を届けられた時の達成感にあります。音楽を通して時間を共有し、聴き手には様々な感情が沸き上がり、演奏者と聴き手が一体となるその魅力は、吹奏楽ならではのと言えます。また、聴き手に届けるまでの練習過程も、演奏者を成長させる大切な期間です。特に部員は、自分自身はもちろん、先輩後輩と向き合いながら時に指導し、時に教わりながら人格の形成や、人間関係の作り方などを学んでいきます。

吹奏楽の活動には周囲の支えが不可欠です。朝の練習、土日の練習、長期休暇の練習、心のサポートなどはご家族の協力なしにはあり得ません。行事1つ取っても、周囲からのご協力をいただくことも多くあります。また、楽譜や楽器の購入、楽器の修理、ホールをお借りしたり、楽器運搬トラックやバスを手配したりするなど、他の部活動にはない出費が多くあります。このように、たくさんの支えがあってこそ成り立つ吹奏楽部であること、部活動をさせてもらえるという感謝の念をもつことを部員に伝えながら、今後も生徒の成長の一助となるように連盟一同努めてまいります。

本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。今後とも、広島県東部地区吹奏楽連盟をよろしく願いいたします。





【その他報告】

《「ロータリーの友」誌 紹介》

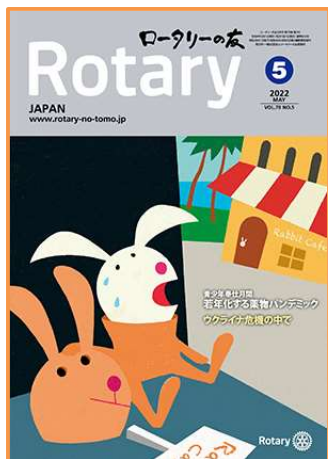
ロータリー情報委員会 瀬尾 義裕



ロータリー情報委員会の瀬尾でございます。2022年5月号の「ロータリーの友」誌について、注目すべき記事として以下の各記事をご紹介します。

- 目次における指定記事の表示（横目次3頁）
- 特集「青少年奉仕月間」（横目次8頁～13頁）
- 特集「ウクライナ危機の中で強まる決意」（横目次14頁～22頁）
- ガバナーのロータリーモメント「杉川聡ガバナー」（横目次26頁）
- 全国一斉献血（横目次28頁～31頁）
- 世界中のロータリープロジェクト（横目次42頁～43頁）
- 「低年齢化する子どものメディア漬け」（縦目次4頁～8頁）
- ROTARY AT WORK「熊谷南：新聞チラシでクラブをPR」（縦目次23頁）

以上



《 各種表彰等 》

・連続皆出席



連続皆出席 30年 宇田 信士 さん

